

時間割コード	G2B65141	開講年度	2026				
授業題目	【安曇野市×信大 協働授業】里山再生ゼミ					担当教員	高木 丈子
英文授業名	Seminar on Revitalizing Satoyama						浅野 郁
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	木曜・4時限 集中・不定期	対象学生	全
講義室	共通教育3 6 講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP 的確に情報を収集し、理解し、発信する力				⇔	里山環境の現状を理解し、課題を自らの言葉で説明・発信し、よりよい未来に向けてどのように対応してゆけばよいかを総合的に考えることができるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	本授業では、地方において大きな問題となっている里地里山地域の再興について、生物多様性の保全、林業の活性化、地域創生等の複雑に絡み合った課題を取り上げ、安曇野市における里山再生の取組の歴史や活動を通じて学びます。 自然環境行政の実務経験を有する担当教員や安曇野市の里山再生に携わる現場職員らが、その経験を生かして具体的な事例等を踏まえながら、演習を行います。						
(5)授業のキーワード	環境政策、森林政策、地方創生、生物多様性、生態系サービス、里地里山、二次的自然、景観、文化、自然資本、自然再興、鳥獣保護、環境教育、持続可能な開発、気候変動、循環経済、信州、人口減少、高齢化、安曇野市里山再生計画、環境マインド、課題発見・解決、実務経験						
(6)授業計画	1.授業スケジュール 木曜日4限目のゼミ（7回）と、3回のフィールドワーク（土曜を予定）を組み合わせます。詳しい日程は、eALPSに掲載します。 （1）ゼミ（キャンパス内：日程は変更の可能性有り。） 第1回：10月1日【里山再生計画を学ぶ・フィールド準備】 第2回：10月15日【フィールド準備】 第3回：10月29日【フィールド準備】 第4回：11月12日【フィールド活動まとめ】 第5回：12月3日【里山と野生生物を考える・グループワーク】 第6回：1月7日【グループ発表準備】 第7回：1月21日【グループ発表 まとめ】 （2）フィールドワーク（キャンパス外・安曇野市内を予定：日程は変更の可能性あり） 第1回：10月24日（土）【鳥獣との軋轢対策（柿もぎ活動）】 第2回：11月7日（土）【普及啓発活動（里山市手伝い）】 第3回：12月19日（土）【鳥獣被害対策等の現場見学（サル追い払い・ハンターと歩く・薪ストーブ活用）】 に、里山再生活動を実施します。 （3）グループ発表 フィールドワーク及び講義の内容について、グループでまとめ発表する。里山再生の課題に対してどのように関わっていく（改善してゆく）かについて、アクションプランを提案する。 ※授業の進行状況により順序・内容を変更することがあります。						
(7)成績評価の方法	以下の方法により成績評価を行います。 （1）グループ発表（30） i）問題を的確に把握しているか ii）問題に対して自らの考えを明確に持ち説明できているか iii）簡潔で分かりやすいプレゼンテーションを行えているか iv）他の人の発表に対して、適切な評価等を行っているか （2）フィールドワーク（30） i）里地里山の現状と課題を理解して臨んでいるか ii）里山活動等に積極的に参加し考えることができたか （3）最終レポート（40）						
(8)成績評価の基準	授業の達成目標に対して以下の観点から評価を行います。 （i）課題等の意図を正確に理解しているか。 （ii）社会動向等を踏まえ、正確な情報を収集できているか。 （iii）批判的視点を持ち、自己見解を論理的に述べているか。 （iv）創造的もしくは独創的な提案を述べているか。 上記の観点を満たし、かつ教員を感心させるレベルにあれば、「卓越している」、4項目を満たしていれば「かなり上にある」、3項目満たしていれば「やや上にある」、2項目まで満たしていれば「合格水準にある」とします。						
(9)事前事後学習の内容	特段の指示をした回以外は、予習は求めません。しかし、日頃から環境問題に関心を持ち、自己との関連性について考える訓練をしておいてください。						

(9)事前事後学習の内容	レポート作成に当たっては、最新のTVニュースや新聞記事等に注意を払うとともに、学術誌や図書など様々な情報媒体を使って自己分析の上、作成するようにしてください。 また、授業で学んだ施策の現場を訪れるなど、知見と経験を深めることを推奨します。 ※この授業は、90時間の学修を必要とする内容です。従って60時間以上の時間外学習が必要です。
(10)履修上の注意	・実地演習は3回とも参加しなければ単位認定されません。欠席による代替措置はありません。 ・フィールドワークにかかる費用は自己負担になります。 ・学研災・学研賠に加入してください。 ・本講義は共通教育特別横断プログラムの一つである「環境マインド実践人材養成コース」のコア科目です。定員を上回り抽選となった場合、環境コースの受講予定者を優先する場合があります。
(11)質問,相談への対応	
(12)授業への出席	授業中や授業時間後に質問や相談に応じます。また、研究室訪問やメールでも随時受け付けます。不在の場合もあるので、訪問の際は事前アポイントをお願いします。 メールアドレスは、takeko_t@（アットマーク以下は大学で付与されるメールアドレスと同じ）です。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	出席停止などの理由により授業に出席できない学生に対しては、オンデマンド形式の受講を認めます（ゼミの場合のみ）。授業開始前までにメールで連絡してください。
【教科書】	教科書は指定しません。必要に応じて資料を配布・案内します。
【参考書】	・一冊でまるごとわかる「里山」入門（富田啓介、ベレ出版、2025） ・里山の生態学（広木詔三、名古屋大学出版会、2002） ・里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く（藻谷浩介ほか、角川新書、2013） ・進化する里山資本主義（藻谷浩介監修、ジャパントイムズ出版、2020） ・里山再生（田中敦夫、洋泉社、2003） ・図説 日本の里山：73の里山のくらしと生物多様性（湯本貴和ほか、朝倉書店、2025） このほか、必要に応じて授業の中で紹介します。